

◆船員政策の実現に向けて組合政治参与を委嘱

現場組合員の負託に応えるべく組合政治参与との連携を強化

9月8日開催の第25回中央執行委員会にて、新たに玉木雄一郎衆議院議員、赤池誠章参議院議員、城井崇衆議院議員、徳永エリ参議院議員の4人の国会議員に政治参与を委嘱することを決定した。

玉木 雄一郎 衆議院議員 (51歳) 国民民主党 4期 香川2区

大蔵省・財務省での勤務(主計局主査を最後に退官)を経て、2009(平成21)年の第45回衆議院議員総選挙にて民主党公認で初当選。

民主党時代には副幹事長や政策調査会副会長を歴任し、希望の党や国民民主党では代表に就任。旧・国民民主党の解党に伴い、2020(令和2)年9月11日に設立された新・国民民主党でも引き続き代表を務めている。

国会では、食と農の問題に取り組もうと希望し農林水産委員会に所属。以来、現在に至るまで農林水産業の政策に携わり、捕鯨議連の主要メンバーとして、わが国の捕鯨政策にも尽力いただいている。

赤池 誠章 参議院議員 (59歳) 自由民主党 2期(衆1期) 比例代表

松下政経塾にて学んだ後、専門学校にて勤務(学校長就任)。2005(平成17)年の第44回衆議院議員総選挙にて初当選後、2013(平成25)年の第23回参議院議員通常選挙比例代表(全国区)で国政復帰。

政府・与党のもとで、文部科学大臣政務官をはじめ、自民党の文部科学部会長、教育再生実行本部事務局長などの要職を歴任したほか、国会では、文教科学委員長や国土交通委員会理事などを務めた。文部科学行政に精通し、学習指導要領の改訂や海洋教育の推進をはじめ、海事振興連盟での活動などを通じ、「海の日」の固定化に向けた取り組みなどにも尽力をいただいている。

組織の総力をあげて 船員職業の魅力向上と 船員政策の実現を目指す

本組合は、第33回定期全国大会(1973(昭和48)年)で特定政党の支持を撤廃し、「政党支持自由の原則」を確立。これを踏まえ、船員を取り巻くさまざまな政策課題を実現していくために、国政・地方政治において、船員・海運・水産政策に精通し、船員職業の重要性に深いご理解をいただいている各級議員と連携を図りながら活動を進めている。

国政においては、船員の確保・育成をはじめ、各部門でも政策課題が山積している中で、国会議員とのさらなる連携強化を図っていく観点から、これまで中央執行委員会は、組合の政策要求を国政に反映いただける議員に政治参与を委嘱してきた。

このたび、中央執行委員会は、新たな4人について組合政治参与の適任者と判断し委嘱を決定。国政では、名誉政治参与1人、政治参与13人の体制となる。

今後も、現場組合員の負託に応えるべく、政治参与との協力体制の強化を通じ、政策の実現に向け取り組んでいく。

「海員だより」